

開催期間:

2012.8.4～2012.8.5

一回目の送付の際は文字は黒で 2回目以降は修正部分を赤字にしてください

スタッフ:

106members

簡潔な短い文章にして下さい。やっつけ仕事禁止

支援者:

ボーイスカウト長浜支部

長浜老人クラブ

長浜市子ども会連合会

大学生 24名

簡潔な短い文章にして下さい。やっつけ仕事禁止

予算:

7866 US dollar

簡潔な短い文章にして下さい。やっつけ仕事禁止

利益／損失:

None

簡潔な短い文章にして下さい。やっつけ仕事禁止

誰の為に？

地域に暮らす子どもと子どもを持つ親

主語を忘れないように「我々 JCIO〇は、」「我々委員会は、」です。

## 目的:

JCI 長浜は地域の子ども達を自立した成人へと導くことができる社会を構築することを目的とする。

その為に以下の事を実行した。

(問題の背景として)

子どもが自己で判断し、行動を起こしていくべき機会に遭遇しても、親がそれを否定したり過剰に介入している。

その結果子どもが自ら判断し、行動を起こす事を抑制している。

という問題に我々JCI 長浜は着目しました。

その問題点を打破すべく、親の意識変革を起こします。

①親が、教育の本質を認識し、その意識を共有できる機会を提供する。

②子ども達が、自らの手で未来を切り開いていける力を養う機会を提供する。

上記を実行した。

3 行程度 400 字以内

我々は子ども達を育ていく上で重要な問題を教育団体・市民と議論しました。

結果として、子ども達対象の体験型事業を立案し実施した。

子ども達に主体性を持たせる事を目標にした。

彼らに責任感と行動力を養い、自分で考えて行動できる若者へとポジティブチェンジさせた。

親には意識改革を行った。彼らも成長し行動する必要がある。

子ども達の成長過程で、その可能性を信じて見守る事が重要である。

その意識こそが、子ども達が自立した成人になることに繋がるという意識を浸透させた。

簡潔な短い文章にして下さい。やっつけ仕事禁止

概要:

親の意識と行動を変える為には何が**必要か**?  
これを地域の大人と考える為に、意見交換ができる場を提供した。  
その意見交換から、親には私達大人が親の役割等を問いただすよりも、子ども達の可能性とその伸ばし方を直接見せる事が最も効果的との結論に至った。  
私たちは、その為に子ども達の体験型のプログラムを構築した。  
結果、子どもは事業において、自ら考え、判断し、行動を起こした。  
事業を通して成長する子どもの姿を親の意識に投げかけ、子どもの成長過程での考え方を変えた。

全部で 400字以上

我々JCI長浜の目的は親の意識を変える。  
実践する為の手段として、まずは教育団体と市民と組織を立ち上げ、意見交換を行った。  
そこから出た意見を抽出し、子ども達を対象とした一泊二日の事業を行った。  
事業は子ども達が主体性を持ち、自分で考える力や周りの子ども達と協調性を養うことができる体験型の事業とした。  
ウォークラリーやキャンプファイヤー等の体験型のプログラムを行い、事業で成長した子ども達の姿を二日目に親に見せる事で、親の意識へと訴えかけ、子ども達の成長には何が**必要か**を考える機会を提供した。

主語を忘れないこと、単語は 7つ以下で 1文とすること

結果をキチンと確認しないとココは書けません。  
解らない場合はすぐに関係者、参加者にアンケートをとり  
関係者からのプラスとマイナスの評価を入手して下さい。

## 結果:

親は、事業の中で子どもが成長する姿を見て、子ども達を取り巻く社会における自分達の役割を理解し、考え方を変えた。  
子ども達は事業を通して、自らで考えて、判断し、行動できるようになった。

JCI長浜は事業後、親へのアンケートを実施して結果を検証した。

その記載内容は以下のとおりである。(一部抜粋)

- ①自立した子どもを育てる環境をつくるには、親や周りの大人が意識をどう持つかが何よりも大切だと感じた。
- ②自分本位で物事を考えずに、子ども達に必要なことを地域の大人が真剣に話し合える場が必要だと感じた。
- ③子ども達が自分で判断し、行動できるように私たち親が考えを改めます。

JCI長浜は事業の中で子どもにインタビューした。

インタビュー内容は以下のとおりである。

- ①ウォークラリーをして、色々なことを自分で考えて、判断し、行動した。
- ②お母さんと離れて、寂しかったけど、いい経験になった。

検証結果を簡潔に書いて下さい

主語を忘れないこと、単語は7つ以下で1文とすること

## 行動:

2011年11月～12月: JCI長浜は、地域の子どもを自立した成人へと導く為に必要なことを教育委員会と教育団体に調査した。

2011年12月: JCI長浜は、子どもを自立へと導く為には、まずは過保護・過干渉といった親の意識変革を行うことが重要との結論をだした。

2012年1月: JCI長浜は上記の問題を解決すべく、教育団体や市民が一堂に会し、子どもを育てる環境について議論できる場を提供する。

2012年3月26日: JCI長浜は教育団体と市民に主体性を持って、問題解決に向けて運動を起こすために、彼らと共に組織を立ち上げた。  
議題内容は、①親の意識変革を行うにはどうすればいいか  
②子どもが自らで考えて行動できる力をどうすれば養うことができるか

2012年4月～ : JCI長浜は上記の会議を月に2回以上開催した。  
会議では、親には私達大人が親の役割等を問いただすよりも、子ども達の可能性とその伸ばし方を直接見せる事が最も効果的との結論に至り、子ども対象の体験型事業を企画した。。

2012年8月4日5日: JCI長浜は教育団体と市民と共に子ども対象の事業を実施した。  
1泊2日のウォークラリーやキャンプファイヤー等の体験型事業を通して  
①子どもには主体性を持ち、自分で考える力や周りの子ども達と協調性を養う機会を与えた。  
②大人には事業の中で自らが考えて行動する子ども達の姿を直接見る機会を与え、意識変革を促した。

2012年8月29日: JCI長浜は会議の中で事業参加者にアンケートを実施した。

2012年9月25日: JCI長浜はアンケートの結果を検証し、どのような効果が得られたかを検証した。  
次年度に向けてこの活動をどのように繋げていくか、を参加した教育団体と市民と議論した。

全部で200字以上  
2000字以内程度

読めば委員会の事業前から  
事業後までの動きが  
だいたい、大まかに解るようにして下さい。

## 考察や推奨

事業は、親や大人が考えて構築した子ども対象の参加型の事業である。

JCI長浜は、子ども達を取り巻く社会について現状認識と調査研究の為に、教育団体や地域の大人が活発に議論できる場を提供した。その会議の中では大人達が、子ども達の成長の機会を親の自分本位な考えが制限しているという現実が明らかになった。

この問題を打破する為に親と子どもがポジティブチェンジできる機会を提供する為に事業の立案と運営を行った。そこから以下の結果が得られた。

- ①親や大人達に、子どもの教育に対して意見交換できる場を提供した。
- ②親や大人達は、会議を通しての中で情報交換や交流が図れた。
- ③会議を通して、子ども達に対する親の意識の問題点が抽出できた。
- ④会議の中から明らかになった親の意識の問題点を打破すべく、子ども対象の事業を企画し、大人の意識変革を行うことに繋げた。
- ⑤事業においては子ども達の責任感と行動力を養い、自分で考えて行動できる若者にポジティブチェンジできた。
- ⑥この会議に参加した教育団体や市民は、次年度にも引き継がれ継続的に子ども達を通して、親や大人の意識変革の為に活動を展開している。

	<p>想定以上の結果</p> <p>親や大人が子どもを取り巻く社会について様々な意見交換が抽出できる機会がくれたこと。</p> <p>①意見交換の場を提供する為に会議を設立した。参加した親や大人が、子ども達を取り巻く環境について意見交換ができ、問題点を打破すべく事業の立案まで我々と連携したこと。</p> <p>②会議の発足にあたり、教育委員会、長浜市子ども会連合会、ボーイスカウト長浜等、教育に関する有識者を巻き込んだ事により、明確に問題点とその解決策を導き出す事に繋がった。</p> <p>要因と工夫</p> <p>①会議の参加者は様々な意見を抽出すべく、教育関係者の参加に重点を置いた。参加者の拡充には、彼らのネットワークを活用し拡げた。</p> <p>②子ども達を対象にした事業の立案を行った事で、親や大人の意識の喚起を促し、更には子どもが自らで考えて行動できる力を養うことに繋がった。</p>
	<p>想定外の結果</p> <p>①親や大人の意識変革の必要性を訴えることができた。その結果、参加者が次年度以降もこの活動に参加すると意思表示があった。</p>
	<p>本事業の特色</p> <p>① 会議で意見の抽出に重点をおいた事で、親や大人の意識の問題点を明確にできた。</p> <p>②親や大人の意識変革と子どもの自立を促進する為に、会議において、JCI長浜と参加者が連携し事業の構築に至ったこと。</p> <p>来年以降のメンバーへ伝えたいこと</p> <p>① 発足した会議への参加者の拡充と各諸団体の継続的なバックアップの必要性。</p> <p>② 親や大人の意識変革の重要性をさらに地域に訴え、行動を起こすところまで活動を昇華させること。</p>



全部で200字以上	NONE
	<p>長浜市子ども会連合会 吉居氏 (コメント)様々な教育団体が子どもの事を考えて、それぞれ活動を展開しているが、この運動はその教育団体が集まって、子ども対象に、また親を対象に様々な意見交換をできたい経験でした。地域を包括して考えてくれているJCI長浜しかできないことだと思います。子どもにもいい経験をさせられてよかった。来年の是非継続した活動にして頂きたい。</p>
	<p>地元有名新聞社が当日の事業を取り上げた。</p> <p>②2012.8.6 付け 地元新聞紙(発行部数:周辺地域 20,000 部発行)</p>